

# 子ども特派員 わが街を行く！

この紙面は、自分の住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、谷原小学校5年生の古谷優馬<sup>ふるやゆうま</sup>さん(下段右)、田村裕和さん<sup>たむらひろかず</sup>(下段左)、豊島穂花さん<sup>とよしまりか</sup>(上段右)、豊島礼菜さん<sup>とよしまあやな</sup>(上段中央)、風見瑠里さん<sup>かざみるり</sup>(上段左)が、西丸山地区に昔から伝わる「西丸山祈祷ばやし」を紹介します。

## 守り続けよう！祈祷ばやし

私たち谷原小学校の5年生は、西丸山地区に300年伝わる「西丸山祈祷ばやし」を、昨年の「やわらっ子まつり」で発表しました。

祈祷ばやしは、太鼓・笛・つづみなどの楽器で演奏します。発表するまでの間、「西丸山祈祷ばやし保存会」の皆さんが、わかりやすく教えてくれたので、「あんばばやし」「ばかばやし」がうまく演奏することができました。友だちに演奏した時の感想を聞いてみると「慣れるまでとても大変だった」「吹けるまでたくさん練習した」などと話していました。



今回の特派員は、私達です！

私たちは1月20日に、「西丸山祈祷ばやし」を体験してきました。集合場所の鹿島神社に行くと、保存会の方が集まっていました。神社では、大八車に太鼓と米俵をのせ五穀豊穡を祈り、太鼓しめしをして出発しました。最初によった神社では、わらで作ったわら人形を立てました。このわら人形は2つあり、1つは男でちょんまげがあり、もう1つのわら人形は女でちょんまげがありません。この2つのわら人形を地区の北(月読神社)と南(吉川十字路)にかざり、西丸山地区に病気や泥棒が入ってこないようにします。



私たちは保存会の方と地区内の家を一軒一軒、おはらいをして回りました。お参りをする家は、お葬式から49日以内の家にはいかないで、それ以外の家に大杉神社(稲敷市)のお札を配ります。わたしたちも太鼓や笛の演奏をさせてもらいました。ちょっとドキドキしましたが、うまくできました。

保存会の人に聞いたところ、会員は29人くらいだそうです。練習は年に2・3回で、谷原小学校の5年生に教えてくれるのも、練習になるそうです。また、後継ぎ不足で困っているとも話していました。

私たちの谷原小学校では、これからも「西丸山祈祷ばやし」の発表を続けていきたいです。

